

---

# 災害廃棄物の対応状況について

---

＜令和 5 年梅雨前線による大雨＞

令和 5 年 8 月

環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室



## 令和5年6月29日からの大雨等に係る環境省の対応（8月30日現在）

### 気象状況（8月8日気象庁発表）

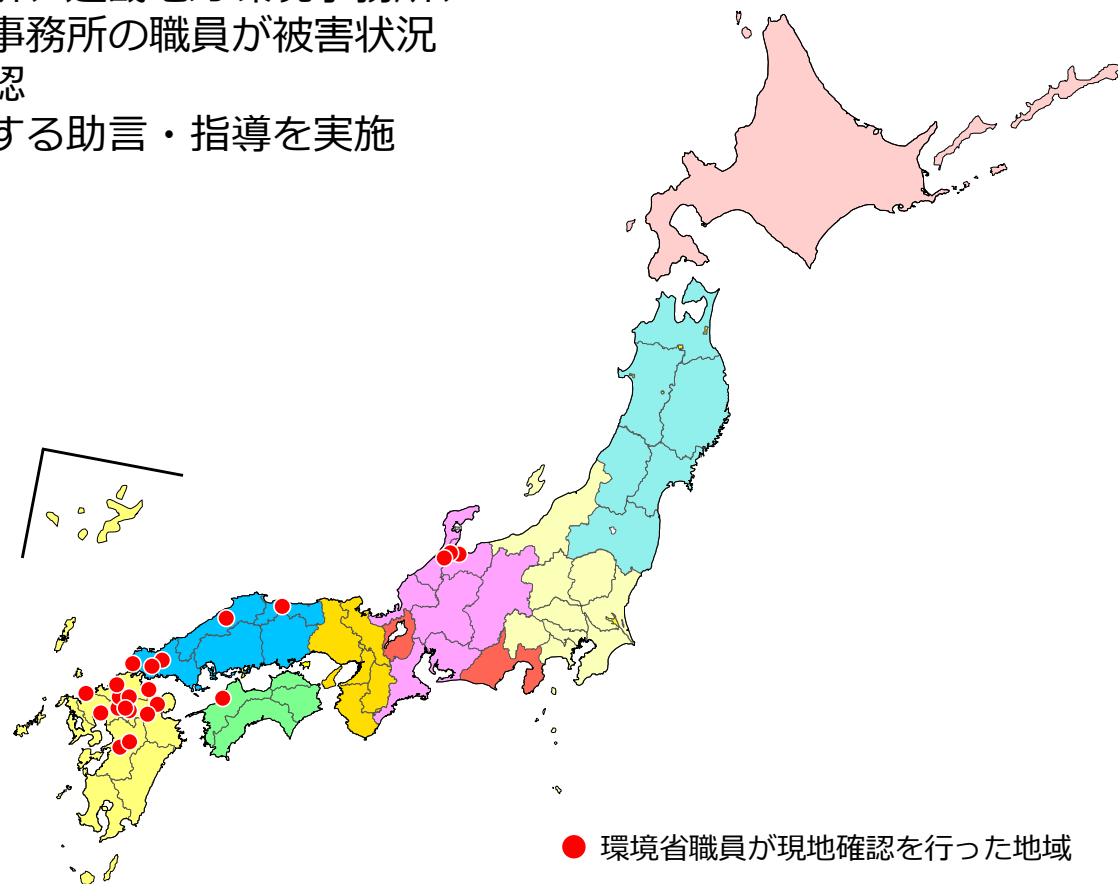
6月28日以降、梅雨前線が日本付近に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で前線の活動が活発となり、各地で大雨となった。6月28日から7月16日までの総降水量は大分県、佐賀県、福岡県で1,200ミリを超えた。

### 環境省の対応状況

- ◆ 関東地方環境事務所、中部地方環境事務所、近畿地方環境事務所、中国四国地方環境事務所、九州地方環境事務所の職員が被害状況及び災害廃棄物発生状況について現地確認
- ◆ 被災自治体に円滑な災害廃棄物処理に関する助言・指導を実施
- ◆ 派遣人数：のべ57人・日（7/4～7/26）



熊本県益城町の仮置場を確認する環境省職員（7/6）



## 各被災地の災害廃棄物処理の様子（8月30日現在）

- ◆ 床上浸水の棟数が多いなど特に被害の大きかった地域では、仮置場又は集積所を設置して災害廃棄物の集積・管理を実施中
  - ◆ 床上浸水の少ない地域などは、通常収集の範囲で対応
- ※ 下記で記載の市以外にも被害の発生している地域がある

### 福岡県久留米市



7/18

- 久留米市では全壊20棟、半壊328棟、一部損壊525棟、床上浸水902棟、床下浸水1,545棟の住家被害が発生。
- 市内の仮置場だけでは受入れが追いつかず、隣接するうきは市の仮置場を共同で利用。

### 大分県中津市



7/12

- 中津市では全壊2棟、半壊1棟、一部破損1棟、床上浸水32棟、床下浸水60棟の住家被害が発生。
- 発災後、避難指示が解除された7月11日のうちに仮置場4カ所を開設。

### 山口県美祢市



7/4

- 美祢市では全壊2棟、半壊50棟、一部破損36棟、床上浸水39棟、床下浸水55棟の住家被害が発生。
- 市内の廃棄物処理施設で水没により機器が停止する被害あり。

# 令和5年7月15日からの大雨等に係る環境省の対応（8月30日現在）

気象状況（8月8日気象庁発表）

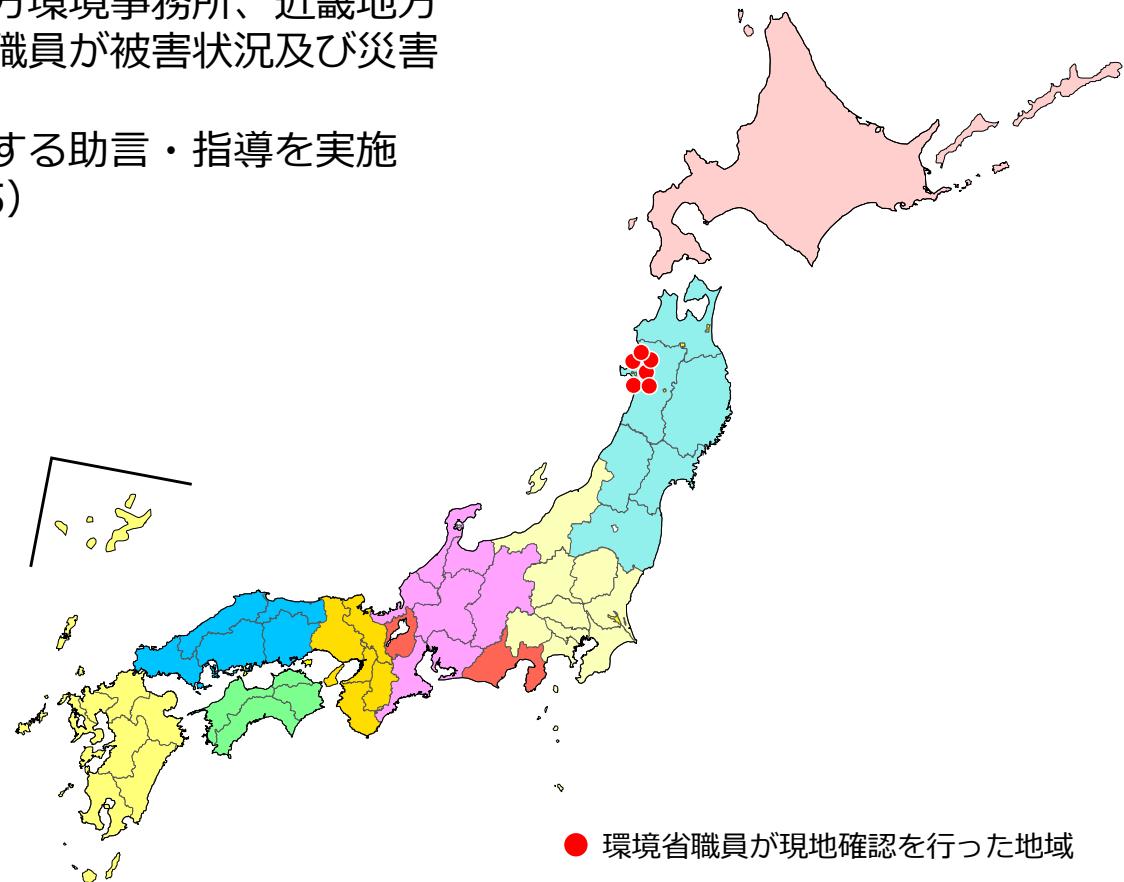
7月14日から16日にかけて、東北北部を中心に大雨となった。秋田県では14日から16日の総降水量が多い所で400ミリを超えるなど、秋田県を中心に記録的な大雨となった所があった。

## 環境省の対応状況

- ◆本省、東北地方環境事務所、北海道地方環境事務所、福島地方環境事務所、関東地方環境事務所、中部地方環境事務所、近畿地方環境事務所、中国四国地方環境事務所の職員が被害状況及び災害廃棄物発生状況について現地確認
- ◆被災自治体に円滑な災害廃棄物処理に関する助言・指導を実施
- ◆派遣人数：のべ210人・日（7/18～8/25）



秋田市役所にて災害廃棄物処理に関する助言等を行う環境省職員（7/31）



# 各被災地の災害廃棄物処理の様子（8月30日現在）

- ◆ 床上浸水の棟数が多いなど特に被害の大きかった地域では、仮置場又は集積所を設置して災害廃棄物の集積・管理を実施中
- ◆ 床上浸水の少ない地域などは、通常収集の範囲で対応  
※ 下記で記載の市以外にも被害の発生している地域がある

## 秋田市



### 1. 被害の状況

- 全壊8棟、一部破損2棟、床上浸水4,314棟、床下浸水2,622棟の住家被害。
- 約25,000トンの災害廃棄物が発生（8/19同市発表）。
- 仮置場7カ所設置し8月27日までに閉鎖。うち6カ所搬出完了。

### 2. 環境省の支援状況

- 7/18～8/25まで環境省職員をのべ194人・日派遣。
- 人材バンク支援員のべ107人・日を現地に派遣し、災害廃棄物処理に関する助言を実施。
- D.Waste-Net（全国都市清掃会議）及び東北ブロック協議会の協力を得て、県外8市が収集運搬支援。
- 技術専門家による現地調査等の技術支援。
- 防衛省・自衛隊と連携し災害廃棄物撤去支援（7/21～28）。

